

可能性は、 無限大

じゅうく。× ビデオ通話

新 型コロナウイルス感染拡大
予防のため、町営塾「じゅうく。」では、通常の塾を
閉鎖し、4月9日より、オンライン（ビ
デオ通話）の塾を開始しました。



中には顔が映るのはちょっと恥ずかし
そうな塾生も。しかし、音声の会話だけ
でなく、絵文字で反応したり、文字で
メッセージが送れる機能もあるため、そ
れぞれの機能を使いこなしながらコミュ
ニケーションをとっています。



ピンチを チャンスに



インターネット上でのビデオ通話とい
う特性を上手く生かし、みんなで同じ地
図サイトの画面を見ながら、世界旅行体
験をしたり、それぞれの塾生の家の近く
を見たりするなど、普段はできない体験
に、スピーカーからは塾生の楽しそうな
声が溢れてきていました。

ドローン

本町の観光用PR映像の撮影をはじめ、
災害時における現場確認や行方不明者の
捜索、農作物の病害の早期発見など、
幅広い分野で活用し、新たな可能性を
生み出していきます。



農業用センサー

米やショウガ、ニラなどの栽培にお
いて、農業用センサーを活用し、水位
や水温、日照、雨量、土壌温度などさ
まざまなデータを取得することで、効
率のよい栽培管理を目指します。

農業用アプリ

農業用センサーで取得したデータを
専用のアプリで管理することで、水位
や雨量など、今のデータを知ることが
できます。また、長期的に管理・蓄積
しデータ化することで、誰でも簡単に栽
培管理ができる未来を目指します。



半歩先の未来へ——。



窪川高校でオンライン朝学活

生徒の様子を確認！



今年3月、新型コロナウイルスの影響で臨時休業となった窪川高校では、
ビデオ通話で朝学活を実施しました。

Web会議で業務効率向上を

役場本庁舎 ⇄ 各地域振興局
の移動時間を削減！



災害対策本部会や庁内での説明会な
どはWeb会議システムを活用し、移動
にかかるコストの削減を図っています。

Society5.0 超スマート社会

これまでの不可能が、可能に変わる。

時

代は新たなステージへ——。狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に次ぐ人類史上第5番目となる
社会、それが超スマート社会です。情報通信技術の革新により、社会をより便利に、快適にしてい
くため、日々さまざまな技術が生み出されています。そして、それらの使い道は決して都会だけに
あてはまるものではありません。急激に人口減少が進んでいる今、産業、医療、福祉、交通、教育
などあらゆる場面で人手や財源が不足しつつあります。このため、ICT（情報通信技術）やIoT（モノのインターネット）・AI（人工知能）といった最新技術
を活用して効率的に課題を解決することで、人手や財源が必要な課題に対し、集中した投資ができる環境づくりを目指
します。また、最新技術を用いることで、これまで解決することができなかった課題の解決にも挑戦します。